

第10回 ごみと水を 考える集い

2022年

入場無料

1月23日(日) 12:30~15:30

会場 藤前会館(名古屋市港区藤前1-742)

定員 おおむね80名(先着順)

申込締切：2022年1月15日(土)

※新型コロナウイルス感染症の感染拡大状況等によっては変更・中止することがあります。

申込方法

HP、またはQRコードから申込フォームにアクセスし、申込みください。



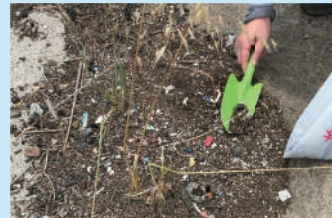
呼びかけ団体

土岐川・庄内川源流の森委員会
NPO 土岐川・庄内川サポートセンター
22世紀奈佐の浜プロジェクト委員会
四日市ウミガメ保存会
藤前干潟クリーン大作戦実行委員会



講演

藤前干潟のプラスチックごみ、
マイクロプラスチックの現状について
名古屋市環境局減量推進室、
名古屋市環境科学調査センター



世界的に大きな問題となっている海洋プラスチックごみ。ラムサール条約湿地である藤前干潟にも多くのプラスチックごみが漂着しています。名古屋市環境局が2021年秋に実施した藤前干潟のプラスチックごみ、さらにはマイクロプラスチック調査から分かった現状などを紹介いたします。

報告

①ヨシ原復元に向けた取り組みについて
藤前干潟クリーン大作戦実行委員会

水質を浄化し、多くの生きものすみかとなるヨシ原は藤前干潟の大きな宝です。

また、ヨシ原は上流からの漂着ごみを海へ流れ出るのを防ぎ、私たちの清掃活動の助けになっています。9年間にわたるヨシ原復元の活動成果について報告します。

②ヨシ原のドローン撮影からわかったこと
③底生生物の生息状況調査
中部大学応用生物学部上野研究室

ヨシ原の復元に向けて土壌調査、ヨシ植栽・生育調査、漂着ごみの影響調査等を行ってきた上野研究室。今回は、上空からドローン撮影したヨシ原の状況を報告します。また、藤前干潟にすむゴカイなどの底生生物調査の結果も発表します。

発表と交流

進行：環境省名古屋自然保護官事務所
アクティブ・レンジャー

ゲスト：南陽高等学校、
名経大市邨高等学校、
聖カピタニオ女子高等学校、
中部大学

藤前干潟やその流域の保全に関わる若い力がますます活躍してきています。藤前干潟での活動経験のある学生の方々に、それぞれの活動や思いなどを紹介・発表いただけます。



エクスカージョン

(午後のイベントに参加される方のうち、希望者のみ)

日時：2022年1月23日(日) 10:30～11:30

場所：藤前活動センター(名古屋市港区藤前2-202)

内容：センター前の堤防を歩き、藤前干潟のごみ
(主にマイクロプラスチック)の現状を知ります。
センター内の見学や野鳥観察もできます!

持ち物：昼食、防寒対策、歩きやすい靴

申込方法：下記へメールで申込みください。
(参加者のお名前、参加人数、所属をお知らせください。)

藤前干潟クリーン大作戦実行委員会事務局(野村)

TEL:090-6399-9774 Email:cleanupfujimae@gmail.com



私たちは、呼びかけます。

ゴミが生まれない社会創りをめざして以下の7項目をアピールしています。

- 1 子どもたちが安心して元気に遊べる水辺を取り戻しましょう。
- 2 たくさんの生きものたちが生息する場を取り戻しましょう。
- 3 ごみを見つけたら勇気を出して拾いましょう。
- 4 ごみを捨てない大人と子供をはぐくみましょう。
- 5 ごみが生まれない社会を創りましょう。
- 6 山、川、里、海それぞれで活動する人どうしの繋がりをつくりましょう。
- 7 流域全体で人と自然が共生する環境を創りましょう。

(「第1回～第9回のごみと水を考える集い」で採択しました。)

コロナ対策

室内の定員を半分に開催します。

マスクを着用して参加ください。

体調不良時は参加をお控えください。

ご来場について

公共交通機関(三重交通バス)でお越しの場合

名鉄バスセンター3階(名古屋駅) 11時20分発 ▶ 南陽町藤前 12時01分着 ▶ 徒歩約5分 ▶ 藤前会館
(南陽町藤前経由イオンモール名古屋茶屋行き)

※エクスカージョンにお越しの際は、「名鉄バスセンター9時12分発→南陽町藤前10時01分着」の三重交通バスに乗りください。

お車でお越しの場合

藤前会館に隣接する駐車場へ駐車できます(無料)。

※エクスカージョンの会場である藤前活動センターにも無料駐車場があります。



※あいち森と緑づくり環境活動・学習推進事業の助成を受けています。
※一般社団法人中部地域づくり協会の助成を受けています。
※一般財団法人セブン-イレブン記念財団の助成を受けています。
※藤前干潟ふれあい事業パートナーシップ事業として実施します。

